

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	国際交流事業	コード	121101
-------	--------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 宮坂 征憲
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	国際理解の醸成	施 策	多文化共生の推進
		予算科目	国際交流事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	語学指導や各種講座を行うほか、保育園・小中学校等での国際理解のための指導、教育などを通じて、歴史や文化の違いを認め合い、考え方の違いを理解して歩み寄ることの大切さを学ぶ。			
目的	対象者	市民		
	意 図	市民の国際理解を醸成する。		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 国際理解推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流員設置事業：国際交流センターに国際交流員1名を配置し、国際化施策立案や英会話講座等の講師を務める。</li> <li>国際交流事務・・・国際交流事業の企画立案</li> <li>市内保育園、小中学校への対応・・・国際理解のための指導、教育</li> </ul> <p>2. 外国人生活支援事業・・・在住外国人を対象とした日本語教室の開催</p> <p>3. 窓口相談・外国籍就学児童生徒支援員派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在住外国人を対象に、多言語に対応した相談窓口を開設。</li> <li>外国籍児童生徒の学習等通訳支援のため、各学校から教育委員会を通じた要請に基づき支援員を派遣。</li> </ul> <p>4. 国際交流交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外姉妹都市（マウント・プレザント市）生活体験高校生受入事業</li> <li>8月3日～8月14日（12日間） 高校生8名・引率者1名を受入れ</li> </ul> <p>5. 多言語による広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年4回発行の『ニューズレター』をはじめ、ホームページやフェイスブック等により情報発信</li> </ul>				
前年度の課題への対応	「国際交流推進事業」として委託事業への一本化を図ったことにより、効率的かつ効果的な事業の実施ができた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	国際理解のための指導、教育を行った箇所数			単位	箇所
	実績値	35	42	40	
	*指標の説明	国際理解のための指導、教育を行った保育園と学校の数及び市民対象の講座実施箇所数			
② 成果指標（指標名）	国際理解のための指導、教育事業参加者数			単位	人
	目標値	2,170	1,412	1,863	
	実績値	1,345	1,775	1,270	
	達成度	62.0%	125.7%	68.2%	
	*指標の説明	国際理解のための指導、教育事業に参加した園児や児童生徒数及び市民対象の講座参加者数			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績数の5%加算				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	12,340,646	13,091,721	15,019,702	15,021,000
経常経費	12,340,646	13,091,721	15,019,702	15,021,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	15,540,646	16,291,721	18,219,702	18,221,000
前年度比		104.8%	111.8%	100.0%
財源				
一般財源	15,540,646	16,291,721	18,219,702	18,221,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	444,018	387,898	455,493	
前年度比		87.4%	117.4%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
長野県日中友好協会 負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	10,000	10,000	10,000
おかや文化振興事業 団	件数	1	1	0	0
	金額	7,000,000	7,000,000	0	0
国際交流センター補助金	件数			1	1
	金額			5,000	5,000
長野県日韓親善協会 諏訪広域支部負担金	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	7,010,000	7,010,000	15,000	15,000
	割合	56.80%	53.55%	0.10%	0.10%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 71.5%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 68.2%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務に関わる成果の評価</li> <li>・国際交流センターにおける自主財源の確保</li> <li>・前例にとられない効率的かつ効果的な事業の実施</li> </ul>	
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流センターの自主性を尊重しつつ、委託業務の目的達成に向けた新規事業について、協議・検討を行う。</li> </ul>	
	改善開始時期	平成31年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---